

和光の緑と湧き水だより 会報 Verda136号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2014年2月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

26年	全体会	新倉ふれあいの森	白子・大坂ふれあいの森(地域の会と協力して)	樹林公園
2月	1月29日湧水環境調査打合わせ 13時～樹林公園保全	15日 保全活動	6日モニ 1000里地調査 20日 大坂ふれあいの森	松幼樹園内移植
3月	23日 和こたん 29日 白子小学校桜まつり	15日 保全活動	6日モニ 1000里地調査 20日大坂ふれあいの森	

1. 武蔵丘陵森林公園の作業員等対象の環境学習会で湧き水の会が講演(2013年12月21日) 講演「自然とは何か・樹林公園のドングリの森づくりや和光の保全と観察会活動から」

(株)八廣園工事事務所 近藤 琢也氏より依頼され、東松山の武蔵丘陵森林公園工事事務所において、作業員等を対象とした環境学習会で、湧き水の会の活動について講演をすることになりました。

内容は、当会の環境活動や貴重種保護、特に樹林公園のドングリの森づくり、昆虫さがし等の観察会の紹介と、「自然とは何か」について、現場で実際に仕事をしておられる方々が公園の整備に役立つお話になりました。学習会の目的は、職員・作業員の環境への意識を高めてもらい、作業時においても自然への配慮を忘れないで取り組んでもらえるようにすることです。



熱心に経験談も交えて現場でのお話も交えて、迫力のある貴重な体験でした。 森林公園現場事務所内

2. 日曜地学ハイク・和光の白子湧水群と川越街道白子宿 地質と湧水、歴史探訪

2014年1月19日に、地学団体研究会埼玉支部と当会が共同主催し、白子地区の湧き水と自然を探訪する「日曜地学ハイク」が行われ、寒さの中50人を超す参加者がありました。「地ハイ」は、毎月第3日曜に、県内の山地や丘陵、台地や低地での地形や地質、歴史などの見どころを、地域の高校の先生などが案内する催しで、土地の成り立ちなどを楽しく知ることが出来ます。今回はなんと475回目、既に50年にも及ぶノウハウの詰まった催しです。成増から川越街道白子宿へ、地福寺や熊野神社で歴史や白子の地形に触れ11時から白子宿



地域センターでセミナー・満員御礼、和光の地形、地質を学びました。午後はその実地見分。富澤湧水群や大坂ふれあいの森で、地層と湧き水の仕組みやその利用方法を見学、地形と植物の織りなす不思議などを体感。高低差のある百段階段を下り白子ノ滝を見学しました。当会の高橋勝緒さん他4名、和光高校の駒井先生、地団研の末永先生が中心に案内し好評でした。夕方には、「白子大坂ふれあいの森の会」や地団研の方々と新年交流会を行い30名集まりました。



3. 和光市湧水環境調査が26年度和光市協働事業になりました

湧水環境調査

和光の湧水井戸を調べよう

水環境 地下水 緑地・斜面林 湧水周辺の環境

前回: 1999～2001年度
和光市白子地区湧水自然環境調査・和光市自然現況調査

今回: ①湧水分布・湧水環境の現状を把握する調査
②井戸・地下水の状態把握、災害対応の可能性の調査
③モデル地区(白子地区)の継続的湧水環境調査

※防災対策を担うプロジェクト、災害時の水供給を担う事業
市内全域の井戸を網羅する調査――予備調査
行政課題に係わる問題として、湧水や井戸の現況の事例を調べ、災害時利用の可能性(きっかけ)を示す。

湧水環境調査のプレゼンテーションを行った時の概要を、図で示しました。

和光市の特徴的な湧水を中心に、湧き水の会が市と進めてきた調査と保全を基に、湧水と緑地環境の現状把握、井戸の現況の事例を調べ、モデル地区(白子地区)の継続調査を行い、災害時利用のきっかけを示すための事前調査です。「白子大坂ふれあいの森の会」と協力して、進めていきたいと思っています。和光の湧水は水量豊富で水質も良く、「和光の宝」として守りたいですね。